

令和元年度 第1回我孫子市放課後対策事業運営委員会 議事録

○日 時 令和元年5月30日(木) 午前9時30分から午前11時まで

○場 所 我孫子市役所 議会棟 A・B会議室

○出席者 <委員>

荒井康哲(委員長) 佐藤哲康 宮本明子 古里未也 塚本美和子 中嶋康貴

藤本仁美 太田悟 鍵山智子 石上克己 森井貴美子 大野敦子 鈴木幸子

原田信彦 菊地統

<放課後対策事業スタッフ コーディネーター>

大塚美香子 河村千春 飯塚章江 深谷幸子

事務局：我孫子市 子ども支援課 蛭原弘治 高橋晃 楠瀬尚城 酒井達仁

\* 議事録作成のための録音許可について (承認)

\* 傍聴について

\* 委嘱状・辞令交付

\* 資料確認

1. 委員長あいさつ

2. 委員自己紹介及び事務局紹介

3. 本委員会の任務及び令和元年度年間スケジュールについて

4. 我孫子市における放課後対策事業について

(1) 我孫子市における放課後対策事業及び昨年度の事業報告について

(2) 令和元年度学童保育室入室状況について

(3) 平成30年度あびっ子クラブにおける1年間の活動状況について

(4) あびっ子クラブ登録状況について

(5) 令和元年度の進捗状況及び検討事項について

5. 学童保育室・あびっ子クラブの運営報告について

・我孫子第一小学校の近況

・根戸小学校の近況

・高野山小学校の近況

・布佐南小学校の近況

## 6. その他

### 1. 委員長あいさつ

#### 【委員長】

それでは、ただいまから令和元年度第1回我孫子市放課後対策事業運営委員会を開催いたします。設置要綱に基づきましてこの委員会の委員長を務めさせていただきます、子ども支援課長です。よろしくお願いいたします。

改めましてご挨拶をさせていただきます。本日は大変お忙しい中ご出席いただきまして、まことにありがとうございます。また、皆様には日ごろから子ども・子育て支援の各分野においてご尽力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

我孫子市の放課後対策事業につきましては、学童保育とあびっ子クラブの一体的な運営を行い、子ども達が安全な環境で充実した放課後が送れるよう事業を進めているところです。

現在、自由に来て遊び、自由に帰る放課後の居場所づくりとして、あびっ子クラブを開室しています。昨年9月には、最後の1校でした布佐小学校のあびっ子クラブを設置し、市内全ての小学校で設置が完了いたしました。

学童保育室におきましては、平成27年度から提案型公共サービス民営化制度によって我孫子第四小学校で事業の民営化を行っており、平成29年度からは根戸小学校、そして昨年度は我孫子第三小学校でも民営化を導入しております。

今後も、我孫子の子どもたちが安心して伸び伸びと放課後を過ごせるよう、また、保護者の方々に我孫子は子育てしやすいまちと言ってもらえるように、充実した放課後対策を進めていきたいと思っております。そのためにも、この委員会におきまして皆様方のご意見をいただくことは大変重要な機会であると考えております。どうぞ、忌憚のないご意見をいただければと思います。

簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

### 2. 委員自己紹介及び事務局紹介

本日は2名欠席ということで、15名の出席となっております。今回は第1回目の委員会となりますので、簡単に自己紹介をお願いいたします。

#### 【委員】

川村学園女子大学教授です。今年もこの委員を務めたいと思っています。

我孫子市はとても大きなまちなので、地域の差があり、充実している地域や、これから成長していく地域まで数多くあると思いますので、それを踏まえ、市内全域で子どもたちのための放課後づくりができるように応援したいと思っています。よろしくお願いします。

**【委員】**

我孫子第二小学校校長です。本日はよろしくお願いいたします。

今年度より民営化ということですが、学童、あびっ子の先生方と情報連携しながら、子どもたちの学びを深めるため、いろいろとご支援をいただいております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

**【委員】**

布佐小学校校長です。今年度、布佐小学校に着任いたしました。よろしくお願いいたします。

**【委員】**

並木小学校PTA代表です。よろしくお願いいたします。

私の子どもがあびっ子クラブを活用させていただいています。今のところ私が家にいるため、なかなかあびっ子クラブへは行かないのですが、子どもたちのために皆さんと良い協議ができればと思います。よろしくお願いします。

**【委員】**

並木小学校PTA代表です。私の子どもは3年生であびっ子クラブを利用させていただいています。よろしくお願いします。

**【委員】**

我孫子市青少年相談員連絡協議会の代表です。委員を務める年数は長くなりますが、よろしくお願いします。

**【委員】**

我孫子市民生委員・児童委員の児童部会がありまして、副部長を務めております。よろしくお願いいたします。

日ごろは、0歳から18歳のお子さんのさまざまな対応をする役割を主に担っています。お子さんたちの放課後のよりよい過ごし方のお役に立てればと思います。よろしくお願いいたします。

**【委員】**

おはようございます。学童保育父母の代表者で、今年度、初めての参加となります。わから

ないところがありますが、頑張りたいと思います。

市では学童とあびっ子クラブを一緒に運営していただいていると思います、あびっ子クラブ自体は、私の子が学童をメインに利用させていただいているため接点がありませんが、協議できることもあると思います。よろしくお願いします。

**【委員】**

おはようございます。湖北台東小のサポーターです。私も委員として長いのですが、実際にあびっ子クラブに出向くことは少ないですが、子どもたちの情報はたくさん入りますのでお子さんの様子はとてもよくわかります。

湖北台の東小、西小で、あびっ子の時間の中でこいのぼりづくりを数年続けております。中央公園に飾っております。一番初めは厚手の大きい画用紙でつくっていましたが、年数を重ねていくうちに、雨にも負けず、風にも負けずの材質を探し求めて、丈夫なこいのぼりをつくってきましたが、去年は雨風で色が全部落ちてしまいました。それはもうびっくりの状態でした。しかし、今年は元気よく泳いでいました。このようにあびっ子の児童と関わらせていただいております。今年もよろしくお願いします。

**【委員】**

一小でサポーターとして活動させていただいております。よろしくお願いします。

私は一小では見守りをやっております、一小含め7つの学校で毎月1回、工作のチャレンジタイムもさせていただいております。毎月1回、その7校で実施していますので、企画やネタも尽きてきて苦勞することが多いのですが、少しでも子どもたちに喜んでもらえるようなもの、なおかつ簡単なものを主眼に、お金のかからない工作としてチャレンジタイムをおこなっております。苦勞も多いですが、子どもたちが喜んでることが私の喜びとして、今後も継続していきたいと思います。よろしくお願いします。

**【委員】**

去年の9月に我孫子市で最後に立ち上がった布佐小あびっ子クラブのコーディネーターです。4年前に湖北台西小を立ち上げた際も1年間、委員会に参加させていただきました。また新たな気持ちでやっていきたいと思います。よろしくお願いします。

**【委員】**

湖北台東小あびっ子クラブのコーディネーターをしております。私も久しぶりに、委員席に座らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

**【委員】**

湖北地区公民館、愛称「コホミン」の館長でございます。よろしくお願いいたします。立場としては、我孫子市の子ども・子育て会議の委員という形で参加しています。

一小が最初にあびっ子クラブを設置した小学校だと思います。当時、私も担任として在籍しており、先輩の先生が「我孫子は放課後がしっかりしているな」とおっしゃっていました。我孫子市が誇れる事業の一つだと思っております。よろしくお願いいたします。

#### 【委員】

皆さん、おはようございます。生涯学習課の課長です。

私は我孫子地区公民館と図書館の複合施設「アビスタ」で業務を行っております。ご存じのとおり図書館と公民館には、学習室がたくさんあります。子どもたちも時間に合わせて、小学生、中学生、高校生、大学生がフリースペースなどを活用しての勉強、図書館で資料を借りるといった形で場所の提供をしています。

また、公民館事業では、家庭教育学級やのびのび親子学級等で保護者同士の情報交換、子育てに関する講座等を年間を通じて開催する学級の運営、さらに、夏休み期間等には、公民館事業として子ども向けに様々な工作の教室などを実施しております。

アビスタは市直営でございまして、湖北地区公民館、コホミンについては館長が率いるアクティオさんという企業に指定管理をお願いしています。双方、社会教育主事が中心となりながら、講座を開催し、子ども向けの各種事業を実施しているところでございます。今後ともよろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

ありがとうございました。

それでは、事務局の自己紹介をお願いいたします。

#### 【事務局】

おはようございます。子ども支援課課長補佐です。今年度もまた皆様方と、子どもたちのよりよい放課後対策事業を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

子ども支援課の主査長です。私も子ども支援課在籍が長くなりました。また皆様からお知恵を拝借できればと思います。よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

同じく、子ども支援課の主任主事です。まだ至らぬところがありますが、皆様のお知恵を拝借させていただいて、よりよい放課後対策事業をつくっていったらと思っております。よろし

くお願いいたします。

**【事務局】**

同じく、子ども支援課の主任主事です。今年度から放課後対策事業の担当に配属となりました。まだまだ至らぬ点が多いですが、頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

高野山小あびっ子クラブのコーディネーターです。どうぞよろしくお願いいたします。

**【事務局】**

一小あびっ子クラブのコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

根戸小あびっ子クラブのコーディネーターです。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

布佐南小あびっ子クラブのコーディネーターです。今年も学童保育のリーダーを兼任させていただいています。よろしくお願いいたします。

### 3. 本委員会の任務及び令和元年度年間スケジュールについて

**【委員長】**

皆さん、ありがとうございました。1年間よろしくお願いいたします。

それでは、議事進行、次第の3番目でございます。「本委員会の任務及び令和元年度年間スケジュールについて」、ご説明いたします。資料は1-1、1-2になります。

放課後対策事業運営委員会の任務は、我孫子市放課後対策事業運営委員会設置要綱に基づきまして、第2条第1号から第9号を任務としております。

- (1) 総合的な放課後対策事業の運営に関すること。
- (2) 総合的な放課後対策事業の検証及び評価に関すること。
- (3) 総合的な放課後対策事業の問題点等の分析及び改善方策の検討等に関すること。
- (4) 教育委員会と市長部局との具体的な連携方策に関すること。
- (5) 小学校の余裕教室等の活用方策と公表に関すること。
- (6) 活動プログラムの企画及び充実に関すること。
- (7) ボランティア等の地域の協力者の人材確保方策に関すること。
- (8) 安全管理方策に関すること。
- (9) 広報活動方策に関することとなっております。

皆様からはこれらのことについてご意見を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

次に、令和元年度の委員会の開催スケジュールでございますが、第2回は9月下旬を予定しております。第3回は12月の中旬、第4回は令和2年2月と、1年間に4回、この運営委員会を開催する予定であります。

9月の開催日についてですが、会の最後に現時点でのご都合をお伺いしまして、日時を決めたいと思っております。お忙しい中ではございますが、どうかよろしくお願ひいたします。

ここまででご質問等はよろしいでしょうか。

(質問なし)

#### 4. 我孫子市における放課後対策事業について

それでは、続きまして次第の4番目でございます。「我孫子市における放課後対策事業及び昨年度の事業報告について」、事務局より報告をお願いいたします。

##### 【事務局】

「我孫子市における放課後対策事業及び昨年度の事業報告について」ご説明いたします。

本日初めての委員の方もいらっしゃいますので、学童保育とあびっ子クラブについて、簡単にご説明させていただきます。

学童保育は、保護者が就労や疾病等で学校が終わった放課後に子どもたちの面倒を見られない場合に、保護者にかわって子どもたちを預かる施設です。市内13の小学校全てに学童保育室があります。時間は放課後から夜7時まで開室しています。民間委託の保育室は夜7時30分まで開室しています。土曜日は予約制で保育を実施しています。

あびっ子クラブは「地域で子どもを育てる」、「子どもたちが安全・安心に遊べる」を基本に、放課後、子どもたちが安心して自由に過ごせる居場所です。時間は放課後から夕方5時まで、冬場の11月から1月までは午後4時半まで開室しています。こちらも同じく土曜日にも開室しています。

登録していれば子どもたちが自由に遊んだり、あるいは地域のサポーターさんたちといろいろな体験ができるチャレンジタイムがあります。あびっ子クラブは子どもたちが自主的に参加する場所で、預かる施設ではありません。学童保育室、あびっ子クラブともに夏休み等の長期学校休業日も開室しています。

次に、資料をもとにご説明いたします。お手元にあります「放課後子ども総合プラン行動計

画」をご覧ください。こちらの計画は「(5) 令和元年度の進捗状況及び検討事項について」でも説明しますが、まずは概要をご説明いたします。

この行動計画は国の指針に基づきまして、本市における学童保育室、あびっ子クラブの整備推進を定めた計画です。現計画は平成27年度から平成31年度までの5カ年の計画です。今年度は現計画の最終年のため、令和2年度からの新たな行動計画策定に向けて準備を進めています。この放課後対策事業運営委員会にも提議させていただき、今後、進捗状況のご報告やご意見を伺う予定です。

それでは、現計画の主立った内容をご説明いたします。計画では学童保育室、あびっ子クラブの一体的な運営方針や将来目標、施設の整備方針等を明記しておりまして、放課後対策事業における行動計画を策定しています。

2ページをご覧ください。「(3) 放課後子ども総合プランの特徴」です。これは国の定めた指針になります。

①「全ての児童」に対し放課後等の居場所を計画的に整備すること。

②学校施設を徹底活用し、全ての小学校区で、放課後児童クラブ及び放課後子供教室を一体的に又は連携して実施すること。

③計画的な放課後児童クラブ及び放課後子供教室の整備を推進すること。

④放課後児童クラブ並びに一体型又は連携した放課後児童クラブ及び放課後子供教室の目標事業量を設定すること等が指針となります。

続きまして、13ページをご覧ください。こちらは学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運営について説明しています。平成19年に我孫子第一小学校にてあびっ子クラブをモデル事業として開設いたしました。子どもたちの放課後をさらに充実させるために放課後対策事業検討委員会を設置し、学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運用について検討を行いました。運営費の削減や学童保育室大規模化緩和など、2つの事業を一体的に運営することにより効率的な運営ができるとして、平成21年度から第一小学校において学童保育室、あびっ子クラブの一体的な運営がスタートいたしました。

就労支援の学童保育、子どもの居場所のあびっ子クラブの2つの事業の違いを尊重しつつ、子ども支援課とスタッフ、保護者の皆さんが知恵を出し合い進めてまいりました。現計画を継承しつつ、今後5年間の目標事業量や施設の整備等を定めていきます。

放課後子ども総合プラン行動計画の大まかな概要を説明させていただきました。そのほかはお時間があるときに一読いただければと思います。



続きまして、昨年度、放課後対策担当が行った事業報告を行います。

初めに、我孫子第三小学校の学童保育室とあびっ子クラブの民間委託です。提案型公共サービス民営化制度を活用し、両事業を民間事業者に委託しました。

提案型公共サービス民営化制度とは、これまで行政が培ってきた仕事を民間の知恵とアイデアでよりよいものにした上で民間に移していくための制度です。市が行っている全ての事業を対象に、民間から委託、民営化の手法を募りまして、市民にとってプラスと判断されれば民間へ委託、民営化を進め、行政が民間に任せたい仕事を決めるのではなく、民間がやりたい仕事を提案する制度です。

三小学童保育室・あびっ子クラブの民間委託に当たりまして、平成30年4月から7月までの4カ月間、学童保育室、あびっ子クラブに1人ずつ引き継ぎのスタッフを残しまして、民間事業者のスタッフにこれまで培ってきた保育や保護者対応などを引き継ぎながら運営することで、児童や保護者が安心できるよう努めてまいりました。

また、あびっ子クラブでは、これまでと同様に地域のサポーターの皆さんのご協力をいただき、チャレンジタイムを引き続き実施するとともに、民間事業者の創意工夫によるイベントを取り入れることで、子どもたちの活動がより一層充実いたしました。

続きまして、我孫子第四小学校の学童保育室、あびっ子クラブの再委託です。提案型公共サービス民営化制度の事業採択により、平成27年度から29年度までの3年間の運営委託期間を経て、再度の提案型公共サービス民営化制度の採択によりまして、同じ事業者が継続して運営することとなりました。

再提案の中では、現在のサービスの質を継承しつつ、新たな提案といたしまして、土曜日にチャレンジタイムと銘打ってスタディーという勉強等の時間を設けるなど、新たな提案がされ承認されました。もちろんスタッフも変わりません。子どもたちも穏やかに放課後を過ごしています。

続きまして、我孫子市学童預かり保育事業です。平成27年度より私立幼稚園における小学生の預かり保育を開始いたしました。定員を超えている学童保育室の緩和措置に向けて、各幼稚園の意向を確認し、事業説明を行い、開始しました。

昨年度、新たに認定こども園を補助対象に加えまして、各種申請手続を見直しました。昨年度は、湖北白ばら幼稚園、あびこ菜の花保育園の2園に対し補助金を交付しました。また、補助金は交付しておりませんが、めばえ幼稚園も第四小学校の低学年の児童を受け入れています。園独自の運営のため、補助金の申請は辞退されております。

今後も学童保育の定員が多い西側地区の小校区の認定こども園、私立幼稚園等へ事業説明を行い、PR活動や広報等に努め、この事業を推進してまいります。

続きまして、布佐小学校あびっ子クラブの開設です。最後の1校となりました布佐小あびっ子クラブを昨年9月に開室いたしました。開室後は市長も訪問していただきまして、子どもたちの様子やスタッフとの意見交換等も行いました。全小学校にあびっ子クラブの設置が完了いたしました。学童保育室と一体的な運営を実施してまいります。

続きまして、あびっ子クラブの登録料の改定についてです。平成19年より登録料を年間500円としておりましたが、受益者負担の考え方も含めまして登録料の見直しを行いました。昨年、本運営委員会にも提議させていただきまして、その後、全小学校の保護者にアンケート調査を実施し、集約いたしました。その後、市長、副市長等の理事者協議を経て、今年度より登録料を年間1,000円といたしました。

昨年のうちに保護者へは改定内容のお知らせの通知、広報あびこやホームページ等で皆様方に周知してまいりましたので、大きな混乱はありませんでした。

以上で、「(1) 我孫子市における放課後対策事業及び昨年度の事業報告について」を終わります。

#### 【委員長】

ただいま、事務局から事業報告がありましたが、何かご意見等ございますでしょうか。

(質問なし)

それでは、次に進みます。事務局から、「(2) 令和元年度学童保育室入室状況について」から、「(4) あびっ子クラブ登録状況について」まで説明があります。クラブの登録状況の説明後にまとめて意見をお伺いしたいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

#### 【事務局】

次第4の「(2) 令和元年度学童保育室入室状況について」説明させていただきます。資料2をご覧ください。

こちらは平成13年度以降の毎年5月1日時点の学童保育登録児童数をまとめたものです。基準決定前、基準決定後と分かれて記載しているのは、平成27年度から子ども・子育て支援新制度をスタートし、学童保育室の定員が変更されたためです。

定員の算出方法につきましては、子ども1人当たりの最低占有面積として1.65平方メートル

ルを確保することと、さらに、延べ床面積から定員数を決定するのではなく、延べ床面積から事業作業スペース、休憩所、トイレ、備品設置面積を差し引いて、純粋に子ども達が遊んだり、おやつを食べる場所の面積で定員数を決定しています。そのため、基準決定後の定員が基準を確保した定員数となっております。

資料では、第三小学校のみ基準決定前より基準決定後の定員が増加しています。これは、平成29年度に拡張工事を行ったため、100名だった定員が20名増加の120名となっております。市全体としては基準決定前の定員が1,250名だったところ、現在は1,035名と215名の定員が減少しています。

一方で、合計入室児童数については、平成19年の900名をピークに、その後少しずつ児童数が減少傾向にありましたが、ここ数年再び増加傾向にあり、今年度は906名という状況です。

主な要因としては、共働き世帯数の増加が影響しているのではないかと考えられます。我孫子市の児童数は減少傾向にありますが、昨今の経済状況等を鑑みると、共働き世帯の増加が見込まれます。これに伴い学童保育室の利用児童は増加することが予想されるため、預かる場所の確保も学校の転用可能教室を利用することが可能か否かが、今後の検討課題になります。

続きまして、次第4の「(3)平成30年度あびっ子クラブにおける1年間の活動状況について」説明させていただきます。資料3をご覧ください。こちらは平成30年度の1年間のあびっ子クラブの参加状況をまとめたものです。

第一小学校を例に説明させていただきます。中央列の下にある太枠欄の「28.6人」が平成30年度のあびっ子クラブの1日当たりの平均利用人数となっております。

参加率としまして、全体の参加者のうち、1・2年生の参加の割合が65.72%、3・4年生が29.59%、5・6年生が4.69%と、低学年のお子さんの参加率が非常に高くなっております。これは第一小学校に限ったことではなく、ほかの学校のあびっ子クラブでも同じことが言えます。

続いて、月別チャレンジタイムの実施状況についてです。チャレンジタイムとは、地域の方々がサポーターとなって実施してくださっている子ども向けの体験教室です。

一小あびっ子クラブにおける月平均実施回数は13.6回となっております、具体的にはおはなし会や囲碁、お箏、けん玉、パターゴルフなど、さまざまなチャレンジタイムを実施いただいています。

市内全校的にサポーター不足や、サポーターの方もお忙しい中活動していただいていること

もあり、スケジュール調整が難しい現状があります。そのため、チャレンジタイムの実施回数が減ってしまうことや、チャレンジタイムの充実が課題に上がってくる一方で、チャレンジタイムを目当てにあびっ子クラブに来るといってお子さんが多くいる現状もあります。このことから、地域にお住まいのサポーターの方々と現場で働くスタッフが協力し、熱心に活動していることがわかります。

具体的な活動状況については、A3用紙で学校ごとにまとめてありますので、後ほど、ご覧ください。

続きまして、次第4の「(4) あびっ子クラブ登録状況について」説明させていただきます。資料4をご覧ください。こちらはあびっ子クラブの新年度登録状況です。

あびっ子クラブの新年度方針は毎年5月1日をもって更新しています。上段の平成30年度学校別あびっ子クラブの登録状況と、下段の令和元年度あびっ子クラブの登録状況は5月1日時点のデータを記載しております。

表の中に記載されている一般という欄については、学童保育室には登録しておらず、あびっ子クラブのみ登録している児童の人数です。学童ほかという欄につきましては、学童保育室に登録している児童、または減免申請を提出している児童の人数を記載しています。

また、表の右下にある学年別登録率をご覧いただくとわかるように、低学年の児童の登録率がかなり高い割合を占めていることがわかります。全体的な登録率としましては、昨年までは60%前後で推移していましたが、今年度からあびっ子クラブの登録料が500円から1,000円になったこともあり、56.7%に減少しています。

布佐小あびっ子クラブについては、平成30年9月からオープンしたため、平成30年度の表にはデータの記載はありません。

布佐小学校のあびっ子クラブがオープンしたことにより、市内全13校のあびっ子クラブの設置が完了しました。今後も、学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運営をしていく上で、子どもたちが同じ場所で安心して交流できるような運営を構築していくとともに、チャレンジタイム等の内容により、より工夫を凝らして充実した環境づくりができるように検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上で、次第4の(2)から(4)の説明とさせていただきます。

#### 【委員長】

ただいま事務局から説明がございましたが、何かご質問等ございますでしょうか。

(質問なし)

それでは、次に進めさせていただきます。「(5)令和元年度の進捗状況及び検討事項について」、事務局より説明をお願いいたします。

**【事務局】**

「(5) 令和元年度の進捗状況及び検討事項について」です。

まず初めに、進捗状況のご説明をさせていただきます。我孫子第二小学校、新木小学校の学童保育室、あびっ子クラブの民間委託についてです。第二小学校の学童保育室、あびっ子クラブにつきましては、この4月より事業者の民間委託を開始いたしました。平成29年度の提案型公共サービス民営化制度で採択されまして、昨年度は民間委託に向けての準備期間といたしました。父母会へ出席し、事業の説明、学校の先生等も含め協議を重ねてまいりました。民間委託に当たりまして、この4月から7月までの4カ月間、学童保育室、あびっ子クラブに引き継ぎスタッフを残しまして、民間事業者のスタッフにこれまで培ってきた保育や保護者対応などを引き継ぎながら運営することで、保護者や児童が安心できるよう努めています。また、市の嘱託職員、臨時職員の職を辞しまして、民間事業者に転籍したスタッフが7名おりまして、学童保育室、あびっ子クラブで同じスタッフが出迎えますので、子どもたちも安心して健やかに放課後を過ごしています。

次に、新木小学校の学童保育室とあびっ子クラブの民間委託です。こちらは、第二小学校同様に、平成29年度の提案型公共サービス民営化制度で採択されまして、昨年度は民間委託に向けて準備期間といたしました。事業者は、第二小学校と同じ事業者です。新木小学校は、この夏休み、8月からの民間委託となります。昨年の父母会等に出席いたしまして、事業の説明、民間委託の説明をしたところ、保護者より不安や心配の声をいただきました。理由として、スタッフの先生が変わってしまい不安であるという声を多くいただきました。私どもと民間事業者は、昨年の11月から幾度も父母会に出席して、丁寧に事業の説明を行い、保護者の心配や不安を解消したところです。

8月からの委託の時期につきましては、1年生も学校生活に慣れて、夏休みの1日の学童保育のスタートになります。現在勤務しているスタッフを引き継ぎ要員として残しまして、この民間事業者の委託のスタッフと新たなスタッフが加わり、この1カ月、一日保育時に集中的にお子さんの情報であったり、保護者との信頼関係を築くことを考えたため、8月からとさせていただきます。また、現在勤務しているスタッフ数名は、二小の学童保育室、あびっ子クラブ同様に市の職を辞して民間事業者に転籍したい、新木小学校の学童保育室にまだ残りたいと

いうスタッフが多数おりました。引き継ぎ後の運営も第二小学校同様、スムーズに進めていくように努めてまいります。

続きまして、検討事項の説明をさせていただきます。あびっ子クラブの土曜日の運営についてです。現在、土曜日におけるあびっ子クラブの利用が少ない状態が続いています。昨年、この委員会で議題としても提案させていただき、土曜日閉室に向けた検討を進めることと確認いたしました。昨年の放課後対策事業運営委員会後に、市長、副市長との理事者協議を実施しまして、理事者からも土曜日閉室に向けた了承を得て、今後はその手法について検討することとなりました。理事者からは、全校一斉に閉室ではなく、利用の少ない市内東側のあびっ子クラブ等から段階的に閉室してはどうかという提案もありました。今年度の運営委員会では、土曜日閉室となった場合の受け皿であったり、手法について検討したいと思います。

子ども部内でどのような手法がよいか模索しまして、土曜日だけの学童保育室であったり、土曜日の小学生の一時預かりなどの手法を検討したところです。あびっ子クラブ利用の児童で、土曜日に両親が仕事などで不在の場合、単発的に土曜日だけ預かる手法を考えました。

土曜日の学童保育の場合、入室の審査の方法や土曜日だけの利用の料金、徴収方法の検討は今後させていただき、運営手法等を条例で定めていますので、条例の改正が必要になります。

小学生児童の預かり保育を考えた場合、学童保育としての仕組みではなく、子育て支援のサービスとして、私立幼稚園や保育園で行っている児童の預かり保育をイメージしていただければわかりやすいと思います。新たに要綱を作成して運用することも可能である、と部内で話をまとめたところです。

あびっ子クラブを閉室した場合は、どちらかの手法で利用していただくことにより、保護者のニーズや不安は解消されると考えています。委員の皆様からご意見等をいただきまして、今後、理事者協議を実施したいと考えています。

昨年の議論の中でもありましたが、隔週での閉室であったり、あびっ子クラブに遊びに来た児童が早い段階でゼロ人となった場合は、午後3時ごろに閉室を繰り上げてはどうかというお話もいただきました。隔週の閉室の場合、子どもたちがいつ開室しているのか混乱してしまうことや、再度午後に遊びに来るお子さんがいることも考えられますので、当日、急遽閉めますという連絡をする手段がないため、難しいと考えたところです。

続きまして、資料5-2をご覧ください。こちらは、各あびっ子クラブの土曜日の利用状況集計になります。学童保育に登録しておらず、あびっ子クラブのみ登録している児童での集計となっております。登録者数は、遊びに来た児童の延べ人数です。真ん中の欄は、土曜日の平

均参加人数です。右端が、全体から見た土曜日の平均利用率です。こちらの平均利用率を見ますと、どのあびっ子クラブにおきましても、利用率の低さが伺えます。

続きまして、我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画の見直しです。先の事業の報告でもお話ししましたが、今年度はこの放課後子ども総合プラン行動計画の見直しの年になります。これは平成27年度から平成31年度まで5カ年の計画で、今年度は最終年度となっておりますので、現計画を継承しつつ、計画や整備目標の素案を今年度中に行いまして、令和2年度から新たな5カ年の計画を策定いたします。学童保育室、あびっ子クラブの整備計画や利用児童数の把握を行い、資料の素案としてまとめていきます。

資料5-3をご覧ください。こちらは新・放課後子ども総合プランです。こちらに掲げる目標といたしましては、学童保育室の整備拡大や放課後子供教室との一体的な運営、学校施設の徹底的活用などを目標に掲げています。国が掲げたこちらの新・放課後子ども総合プランをもとに、現計画を継承しつつ、また来年度から5年間の計画を策定いたします。素案の策定ができ次第、今後、委員の皆様にご意見を伺う予定で考えておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、学童保育料の見直しです。受益者負担の見直しや消費税増税に伴いまして、市の公共サービスについて適正な価格設定が求められています。財政当局から受益者負担を求める公共サービスについては、令和2年4月を目途に適正な使用料などを改正するため、全庁的な見直しを行うという通達がありました。また、他の自治体では、学童保育室のおやつ代を保育料に含めて取り扱っている自治体があることや、本市においても、一部の学童保育室の保護者から、おやつ代を含めた利用料金の徴収を望む声もいただいています。それらを含めて、今後、検討してまいりたいと思います。

学童保育料につきましては、平成22年度から現在の8,000円に料金が改定しています。それ以前は6,000円の学童保育料でした。次回の運営委員会で、受益者負担から見た学童保育料のトータルコストの金額等の推移、市の考え方等を示しまして、また委員の皆様にご意見を伺う予定ですので、よろしく願いいたします。

続きまして、チャレンジタイムとサポーターです。あびっ子クラブで実施しているチャレンジタイムで、今後、いかに子どもたちの興味を引かせるかが問題となっています。平成19年度からあびっ子クラブがスタートいたしまして、サポーターの皆さんは各小学校に登録いただき、様々な小学校で子どもたちとチャレンジタイムを行っている方がたくさんいますが、やはり同じチャレンジタイムが続くということが、良くも悪くもご意見をいただいています。今後

は、企業との連携をとることも大きな視野として考えています。また、サポーターの集め方ですが、現在全小学校のサポーターに登録している地域の皆様方は、約182名おりますが、サポーターの登録が多い小学校と少ない小学校の差が顕著に出ていますので、お子さんを見守るサポーターのほかに、チャレンジタイムを実施していただけるサポーターの取り込みを今後検討していきたいと思っております。

市役所内の関係課といたしましては、自治会等を所管している関係課もありますので、サポーター募集のチラシ等の配布協力を検討しております。以上を検討事項として、報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

ただいま事務局から説明がございました。まず、進捗状況についてですが、ご意見等ございますでしょうか。

**【委員】**

着座で失礼いたします。先ほどの説明にもありましたが、我孫子第二小学校の学童・あびっ子クラブ民営化について前年度からの準備期間をしっかりとっていただいておりますので、4月からスムーズに移行できたことが一番ありがたかったです。今後、新木小が民営化されますが、実際にスタッフとして働いていた方々が移籍していただいているということで、子どもたちのみならず、保護者の方の安心感も非常に高いように思います。市でのいろいろなご支援が子どもたちに届いていると感じております。

**【委員長】**

ありがとうございました。

**【事務局】**

ありがとうございます。事務局のほうからよろしいでしょうか。

**【委員長】**

では、事務局よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

公営で勤務しているスタッフにとって、民間への移籍は大きな決断だと思います。しかし、そのスタッフからのお話を聞くと、第二小学校や新木小学校に来てくれている子どもたちと1年1年を一緒に過ごし、その子どもたちと一緒に成長していく、そのような放課後を一緒に過ごしたいというスタッフが非常に多く、またそれがうれしく、励みになるとのお話を聞いています。我々にとってもありがたいことだと思っております。



**【委員長】**

ありがとうございました。

ほかにございますでしょうか。進捗状況については以上でよろしいでしょうか。

(意見なし)

それでは、検討事項についてご意見を賜りたいと思います。事務局から4点、あびっ子クラブの土曜日の運営について、総合プランの見直し、学童保育料の見直し等々ございますが、いかがでしょうか。

**【委員】**

土曜日は児童がとても少ないという説明でしたが、13校それぞれ違いがあるのではと心配しております。

**【事務局】**

現場のスタッフに確認したところ、午前中から数人の児童であったり、午前中遊びに来て午後は帰ってしまうというパターンが、どのあびっ子クラブにも発生しています。体育館を利用した土曜日にしかできないチャレンジタイムをやる際には、前もって1カ月前にお知らせをします。そのようなイベントには子どもたちが楽しみに来る場合もあるのですが、子ども達も忙しくなっているのでしょうか。塾やクラブ活動等、土曜日の過ごし方が多少変わってきていますので、土曜日の一日利用は、ここ何年か非常に少ないです。

**【委員長】**

ほかにございますでしょうか。

**【委員】**

おそらく、土曜日というのが、親御さんが家にいたり、学校がないこともあり、学校があればその後に残るというつながりがあると思いますが、わざわざ家から出てきてあびっ子に行くのかということと、あびっ子のそもそもの目的というのが、遊び場を提供するということだけではなく、もう少し違うものなのかなと思っていました。あびっ子が閉室になったときに、そのあびっ子に行っていた子がどこに行くのだろう、どうするのだろうということを少し考えて、先ほどの協議の上で段階的に閉室にする場合には、その受け皿をもう少し考えてみたいと思っています。現段階では、今後どのような方針でこの運営を変えていくことになっているのでしょうか。

**【事務局】**

昨年の運営委員会で委員の皆様方一人一人に意見を伺っていきまして、そのような状況ではやはり土曜日を現状のまま開室するのは難しいだろうということで、委員の皆さんには一致した見解で報告させていただきました。今後は手法の検討ですが、今の段階では部内の案を提示となります。あびっ子を利用するお子さんの中には、様々な家庭の事情により、学童保育を利用出来ない、しないお子さんも、少数ですがいらっしゃいます。そのような子どもたちの居場所という位置づけではなく、保育を行う場として単発的に土曜日だけ学童保育に準じた形で過ごせるようなことも検討しています。学童保育室は1年間通しての利用という形にはなりますが、土曜日は予約制で行っていますので、ある程度利用人数は把握していますし、1週間前、2週間前に急に数人増えても、スタッフは順応に対応できると考えております。その他、学童保育室の土曜日のみの日預かり事業のようなことを要綱等を定めて運営することもできるのではないかという話が内部であったため、まずそのような方向で検討をするということをご報告とさせていただきます。

**【委員】**

湖北台の場合、駅前にお休み処というものがあります。土曜日に児童が数人で来るということが今まで見られました。しかし、お休み処自体もボランティアのスタッフが高齢化してしまい、お休み処の土曜日開催も検討中です。しかし他の近隣センターで子どもたちが過ごしているというのが、このところ見られています。そのため湖北台だけでなく、近隣センターは市内各所にありますので、そちらの利用を学校でも勧めてよいのではないかと思います。

**【事務局】**

ご意見としていただきました。近隣センターに子どもがいるということ初めて伺いました、ありがとうございます。

**【委員長】**

ほかにご意見等ございますか。

**【委員】**

近隣センターの様子を見に行きますと、近隣センターに囲碁があり、そこでおじいちゃんたちが打っているのを子どもが見ていると、「やってみたいか？」などと声をかけられて、「全然わかんないから教えて」と言っているのも見かけました。ですから、近隣センターを活用しての異年齢交流の動きもあってよいと思います。

**【事務局】**

各あびっ子クラブに囲碁や将棋、おはじきなど、得意分野を教えているサポーターもたくさ

んいらっしやいます。近隣センターだとご年配の方が来る率も高いと思いますので、参考とさせていただきます。

**【委員長】**

ほかに、何かご意見等ございますでしょうか。

(意見なし)

まだ事務局では検討案ということで、定まっていないところがございますので、再度事務局の意見をまとめまして、皆様にご提示をして、それでまたご審議いただくというような形になるかと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

5. 学童保育室・あびっ子クラブの運営報告について

続きまして、議事の5番目に進めさせていただきます。「学童保育室・あびっ子クラブの運営報告について」になります。

まず、我孫子第一小学校の近況について、ご報告をお願いしたいと思います。

**【事務局】**

一小あびっ子クラブのコーディネーターです。あびっ子クラブと学童保育室の様子を、お話しさせていただきます。

学童保育室は、現在、在席79名、毎日60人前後の子どもたちが登室しています。1年生も学童保育室の生活にすっかり慣れたようで、毎日元気に過ごしています。今年の1年生は、大人っぽい子が多く少し落ちついている感じがします。毎日、おやつ前、おやつ後に、学童の子もあびっ子クラブに来るのですが、1年生がたくさん遊びに来てくれています。そのほか、学童保育室では、今、「ワミー」というおもちゃが大人気なようで、みんなでいろんな形をつかって遊んでいます。あと、サバイバルの本が大人気で、科学雑誌で漫画形式になっているのですが、みんな畳の上に行儀よく並んで順番に読んでいます。学童の子はとても元気で、あびっ子に来るとあびっ子の雰囲気が、嵐が来たようににぎやかになり、「おやつだよ」って言ってあびっ子から帰ると嵐が去ったように静かになるという毎日を繰り返しています。

あびっ子クラブでは、毎日50人前後の子供たちが来てくれています。そのうち、1年生が大体25人ほど、約半分が1年生という状況です。まだ物珍しいので毎日来ているのだと思います。そして、チャレンジタイムも楽しいようで、いろいろなことに参加してくれています。今始まったのはパターゴルフとお習字と囲碁ですが、それぞれいつもより多い30名ぐらいが

参加し、スタッフもサポーターもてんでこ舞いになっています。また、チャレンジタイムのない日はスタッフ体制が2人なので、とても慌ただしくばたばたと走り回っています。登録数は去年より大分減ってしまいました。5、6年生がだいぶ減りました。実際、登録しているだけで、遊びに来ない子もたくさんいましたので、高学年になると忙しくて来られないのが実情だと思っています。

また、あびっ子クラブのチャレンジタイムは本当にサポーターの皆様には助けられています。特に見守りのサポーターの方々には、体制が2人の際に、予定外の見守りの方が来てくださった際は、ほんとうに助かっているのが現状です。

以上です。

**【委員長】**

ありがとうございました。今、第一小学校の近況についてご報告いただきましたが、何か聞きたいことがありましたら、よろしくお願いします。

**【委員】**

ワミーとはどのようなものですか。

**【事務局】**

今年異動したスタッフがプレゼントとして置いていってくださったものです。輪っかをつなげたり、ねじったり……。かごであったり、ボールであったり、ペンギンなど、いろいろなものをつくります。

**【委員】**

ほかのあびっ子クラブでもあるんですか。

手持ち資料に小さいですがワミーの写真が載っています。この写真ではUFOキャッチャーみたいな感じで遊んでいます。いろいろなものがつくれるので、ボールができたり、王冠をつくったり、そのときはたまたまUFOキャッチャーだといって遊んでいる写真です。

**【委員】**

ありがとうございました。

**【委員長】**

ありがとうございました。

続きまして、根戸小学校の近況について、よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

それでは、根戸小学校の近況についてご報告させていただきます。昨年度に比べて、児童数

が大分減りました。一時期、1,300名を超える児童数でしたが、今は900名を割っていません。登録人数のほうも大分減ってきておりまして、昨年度と比べると70名近くあびっ子の登録人数も減っています。学童は、定員が決まっているので、同じような人数で推移をしております。

おそらく、1年生、2年生はほとんど登録をしているため100%、95%あたり、6年生になると、先ほどの資料にもありましたが20%程度になり、3年生から75%、50%と学年があがるにつれて減ってくる感じです。

学童は、民間委託になって3年目になります。3年目になり、様々な課題や再考しなくてはいけないところが出てきているのですが、それでも日々スタッフがいろいろなことに取り組みながら頑張っています。

学童では、毎月のように誕生会を開くなど、公営と変わらないところもありますが、民間委託になったことに伴い、今まで父母会が主催でやっていたものを、民間にお願いできないかというお話がありまして、例えば、今まで新入生歓迎会や遠足、親子で楽しむ秋の遠足のようなことを父母会が主催でやっていたのですが、民間委託されてから、学童保育室が主催でやるようになりました。今年度も、4月27日に新入生歓迎会をしまして、ドッジボール大会と名を打って、保護者が55名ぐらい出席していただいて、合計で約130名、たくさんの方が来てくださって大いに盛り上がりました。

そのようなことも、こちら主催でやると便利なのところもあるのかと思います。秋の遠足に関してですが、6月29日にこちら主催の保護者会を開催し、場所や目的などをお知らせするため、こちらもいろいろ案を練って考えているところです。

子供たちも今のところ、大きなけがもなく元気にいろいろな遊びに取り組みながら過ごすことができているようです。

あびっ子クラブにおいては、先ほどからサポーターの人数が少ないということですが、根戸小学校は現在、約30人登録があります。毎日、日替わりのようにチャレンジタイムがあります。今日はバドミントンがあるのですが、子どもたちはとても楽しんでいるということでした。

根戸小学校では子どもたちにアンケートをとってみました。好きな遊びは何ですかという質問で、一番多かったのは「鬼ごっこ」でした。それがすごく楽しいということでした。第2位は「ない」とか書いてありました。第3位は「卓球」や「レゴ」、4位が「ブランコ、鉄棒、だるま落とし、シュシュづくり」など、その他が5位と、いろいろ書かれていました。

あびっ子は楽しいですかという質問には、「はい」と答えてくださった方が22名おりまして、「普通」が10名、「いいえ」が1人おりましたので、この方を気にしないといけないのかなと思っています。

3問目ですが、あびっ子のよいところはどこですかという質問をしました。結果は「いっぱい遊べる、自由に楽しく過ごせる」というのが一番でした。次には「ない」でした。「友達ができる、友達と遊べる、ほかの学年やクラスの人と遊べる、先生が優しい、遊んでくれる、相談に乗ってくれる」が第3位です。「いろいろ何でもある」というのはどういうことなのかなと思いますが、その他としては、「レゴや学習やピアノや勉強ができる、屋内で遊べる部屋がある、マグネットがある」、様々なことが書いてありました。

あびっ子で直してほしいところはどこですかという質問では、一番が「ない」ということでしたので、これはいいことなのかなと思っています。第2位は「うるさい人がいる」、元気な子がいるのですが、「少ししつけてほしい」とのことでした。第3位は、この辺は子ども支援課にご相談しないといけないのですが「部屋や壁が汚い」、長年経ちましたので、壁紙とかも大分汚れてきたのかと。私たちとしてできるところは、お金のかからないように壁紙を張りかえたらいいのか、予算との関係もありますので、考えていかないといけないのかなと思います。4位が「卓球ボールが飛んでくる」、同じお部屋の中に卓球台が置いてあるので、どうしてもそれが飛んできてしまう。フェンスを置いておきたいのですが、フェンスは予算が高いので安いフェンスをどう私たちがつくろうと思ひ、今後、ホームセンター等に行って材料等を考えてみたいと思っています。

現在、いろいろな子どもたちがいますが、限られたスペースなので、そこに多くても90人ぐらいが限度だと思いますが、学童の子も来たいといった際に、お断りが出てしまっており、もっと教室が広いといいのという話も出ています。その辺が子供たちの思いとつながっていないところがあるかなと思います。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございました。いろいろなアンケートをとられていて、先生が優しいであるとか楽しい等、いいアンケートをとられていると思います。壁が汚いというところは、受けとめなくてはならないというところで感じております。

何かほかに聞きたいということはございますか。お願いします。

#### 【委員】

完全に利用する側からの意見ですが、うちの子はあびっ子クラブを利用していますが、1人ではあまり行きたがらないです。理由を聞くと、学童の子はあびっ子に来られるのに、あびっ子の子は学童に行かれないと。もっと学童の子と交流をしたいらしいのですが、それができないから行きたくないと言われ、行かせるときは事前に友達を手配します。女の子だから余計そういう知恵が回ってしまうと思います。全く交流できないのではなく、いつ交流できるかがわからないため、そのように言っていると思います。なので、そこの境等を子供たちにわかりやすくできたらいいのかなと思います。

#### 【事務局】

学童の子というのが、やはり集団生活をしている上で、顔見知りの子が学童の中だと多くなり、あびっ子で遊ぶ場合も学童で固まってしまうお子さんは多いと思います。その輪の中に入るのが難しいという子はいらっしゃると思います。

現場としては、いろいろな子たちと遊べるように工夫をしたり、誘導やスタッフが介入して一緒に遊んだりとかもしていますが、子ども達も感じる場所があるのかも知れません、さらに学童は3時、4時頃になってくるとおやつ時間があり、学童保育室に戻らなくてはならないため、よけいに寂しく感じることがあるのかなと思います。

今後もスタッフは気にかけてはいますが、遊び方の工夫も検討した方が良いのではと、ご意見をいただいて感じました。

#### 【委員長】

では、続きまして、高野山小学校の近況についてご報告のほうをお願いいたします。

#### 【事務局】

高野山小あびっ子クラブのコーディネーターです。よろしくお願いします。

あびっ子クラブの様子を先にお話しさせていただきます。1年生の利用が始まりまして、現在、40名から55名ぐらいの人数が遊びに来ております。受け付け名簿に丸をする、リストバンドをする、マグネットを張るという作業が1年生にとっては大変な作業だったと思います。名簿の名前を見つけるだけでも苦労し、特に帰りに名前の横に時間を書くことが最も大変で、横にデジタル時計が置いてありますが、数字の4の次のちょんちょん(;)はどこに書いたらいいのと言われた際は、1年生らしいなと思いながら見守っていました。今では大分なれて、帰りの時間を書くのもスムーズにできるようになってきたように思います。

高野山小あびっ子クラブは第3校舎の2階にありまして、地域交流教室の広い部屋をお借りしております。イメージ的には教室2つ分と廊下分ぐらいの広さがあります。広いので多少ス

ペースを区切って遊んでおりまして、座卓やテーブルを置いたところでは、主に座って遊ぶスペースです。人生ゲームや折り紙、ぬり絵をしたり、レゴをつくって遊んだりしています。広い空間のスペースでは、ジョイントマットという大きなマットをたくさん広げ、計62枚ありますので、大きなおうちをつくって遊んだり、カプラ、コマ回しなどをしております。カプラのイメージとして、私の中では縦に積んでいくイメージがありましたが、スペースが広いので横に広げて基地を作り、そこにポケモン人形を並べて戦い、おまけにおはじきもきれいに色別に並べて遊んでいます。広いスペースでカプラを横に使って遊べることはすごいと思います。

学童の子のおやつが終わる3時45分頃になると、たくさんあびっ子に来てくれます。あびっ子の窓から学童のお部屋が見えますので、学童を出てあびっ子に走ってくる姿が見えます。すると、「きたきたきた、みんな来たよ、学童の子が来たよ」と話し、そこからまたにぎやかに遊ぶ状態になっています。

学校の校庭は陸上部の練習がとても盛んなので、あまり使用することはできませんが、部屋の中で動きのある遊びができるのはとてもいいことだと思います。

続きまして、学童保育室の様子をお話しします。高野山小の学童保育室は、第1学童41名、第2学童39名と2つに分室しております。学校の敷地の隣に2階建ての保育室と、中庭と呼んでいる広場があります。室内はとてもきれいで、対面キッチンになっておりますので、洗剤など作業をしながらも子どもの姿、様子を見守ることができるので、とてもいい部屋だと思っております。第1学童と第2学童、2つお部屋があるので、おもちゃの種類を変えております。本の種類も多少変えております。なので、部屋の交流の時間には違ったおもちゃや本を読むことができ、遊びが広がっていると思います。先ほどお話しした中庭があるために、校庭に行けない日も中庭で遊ぶことができます。ドッジボールや一輪車程度の遊びはできるので、子ども達はとても元気に過ごせます。

保育室の周りはとても自然が多く、竹やぶ等もあります。時にはウグイスの声も聞こえてくるため、とてもいいところだと思っておりますが、稀にへびやムカデまで中庭のほうに遊びに来てくれます。女性のスタッフが多いため、本当は退治したり触りたくないのですが、ほうきや長い棒を持ち、やぶのほうへ追いやるといった怖い仕事もしながら、子どもたちがかまれたら大変なので頑張っております。

現在、とても心配に思っていることは、28日に川崎の事件がありました。その事件の翌日、1年生の一般の子の利用、学童の子ではなく、あびっ子にのみ来る1年生の利用が、通常10名から15名ぐらいですが、たった2名でした。そのため、保護者もテレビを見て、子どもの



下校をすごく気にかけてくれているのかと思っております。

5月9日に、我孫子中の近くに不審者が現れたということで、学校が急遽、保護者への引き渡しを行いました。4時までに引き渡しができなかった学童の子、あびっ子の子はどうしようかということで、学校のほうから打ち合わせをしたいというお話がありまして、学童の子は就労支援のため夜まで学童保育室、あびっ子クラブの子は5名ほどでしたが、あびっ子クラブで過ごし、開室時間は17時までですが、必ず保護者に引き渡しをするということになりました。ただ、保護者がお仕事をしている人はなかなか連絡がつかず、子供に聞くと遠くまで働きに行っており、自分で鍵を持ち、17時になったら家に帰り鍵をあけるといってお子さんもいたため、保護者への連絡がつきにくかったのですが、学校の先生のご協力もいただき、17時半前には保護者は無理でも、中学生のお兄さんであれば大丈夫ではないかということで、お願いして迎えに来てもらうなどで、全員引き渡すことができましたが、緊急時に備えての連絡手段があびっ子にあればと思いました。また、学校さんの協力をいただいて運営ができていると感じました。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございました。何か質問等がございましたら、お願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

続きまして、布佐南小学校の近況についてお願いいたします。

#### 【事務局】

布佐南小コーディネーターです。よろしくをお願いいたします。

南小の場合は、子供たちの数が大変少なく、私は南小に来て6年目ですが、異動と同時にあびっ子クラブもオープンしました。学童保育室は当時10名で、翌年はまた1桁になってしまったという状況だったため、あびっ子クラブの子供たちと交流をしなければ遊べない状況で、最初の二、三年は学童保育室とあびっ子が常に一緒にいる状態が続きました。そして、ここ数年は学童保育室も20名を超えるようになりましたので、反対に学童の子供たちの居場所を確保して、落ち着いてゆっくりと生活できる時間もとらなければいけないと考え、3年目になりますが、学童とあびっ子を分ける時間を増やしております。

あびっ子も学童も大変少ない学校ですが、それぞれの居場所というのは違うものなので、どちらの居場所も確保しなければいけないため、スタッフは工夫を凝らしております。

昔は時間を決めて学童のほうにあびっ子クラブの子も入室して良いとしておりましたが、現

在、学童の子は宿題等が終わったら、あびっ子に遊びに行けるという形をとりました。また、外で遊ぶ際には、あびっ子と学童と一緒に遊んでいます。ただ、規模の大きさによって、それができる学校と、なかなかできない学校があるのではないかと思います。南小は本当に小さい学校で人数も少なく、また、学童とあびっ子が隣同士でもありますので、スタッフがお互い声を掛け合って、一緒に過ごす時間をつくっています。

あびっ子クラブでは、チャレンジタイムが今年から1つ増えまして、学習の時間を設けております。チャレンジタイムスタディーといいまして、布佐小と南小が同時に始めているのですが、布佐地区で展開している、布佐子ども学習室の協力を得て学習支援員さんが月3回、5月から始まっており、宿題が中心となりますが、一、二年生が5時間授業で帰ってきた後に、まず、一、二年生が学習タイムに参加して、6時間授業が終わった三、四年生が4時ぐらいから参加してということで、約30名の子が参加して活動しています。退職した先生がわからないことをサポートしてくれるので、とても楽しく学習しています。ありがたいと思っております。

子ども達も「また来たら宿題をやるんだ」とか、「今度はいつあるの」と、子ども達もスタディーが気になる様です。今後も協力を得て、続けていけたらと思っております。

以上です。

#### 【委員長】

ありがとうございました。それでは、南小学校の近況について、何かお伺いしたいことはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次第6番目のその他の方へ入らせていただきます。冒頭で、次回の会議、9月の後半とお話をさせていただいたところですが、予定している日が2日ございまして、9月26日木曜日、または、9月30日月曜日のいずれかで開催したいと考えております。9月26日で都合の悪いという方は挙手をお願いします。では30日ではいかがでしょうか。挙手をお願いします。

次回、9月30日に開催することとさせていただきます。また、時間、場所などについては、後日、事務局より連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

日程はこれで終わりましたが、事務局でほかにありますか。

#### 【事務局】

ご連絡となります。毎年、夏休みが近くなり、人手が必要になる時期になっています。そこでアシスタントの募集を今年度もさせていただければと考えております。チラシを作成しました。配布は6月1日から広報やホームページにアップし、その他、大学や公共施設に張らせて

いただきます。さらに学校側でも、給食で働いている方々にお配りできるようお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

**【委員長】**

夏休みのアシスタントは毎年、人が足りなく大変困っていますので、ぜひお知り合いの方で働きたいという方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介いただければと思います。

最後に何かご質問等、ございますでしょうか。

では、長時間にわたりまして、ご審議ありがとうございました。これをもちまして、第1回、放課後対策事業運営委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

— 了 —